

第12回技術シンポジウム

交通インフラの利活用

～まちと人を道でつなぐ未来づくり～

2020年

11月12日(木)

13:00～17:10
(開場 12:15)

アクロス福岡

B2F イベントホール
(福岡市中央区天神 1-1-1)

プログラム

13:00～13:05 開会挨拶

13:05～14:05

『移動文化の変容をもたらす新しい地域社会像』

坂口 光一(一般社団法人 イドピラキ 代表理事・九州大学 名誉教授)

14:05～14:15 休憩

14:15～14:45

『世界があこがれる九州をつくる
～with/after コロナの地元創生～』

村岡 浩司(株式会社 一平ホールディングス 代表取締役社長)

14:45～15:15

『応援・チャレンジの連鎖が地域を変える
～ヒトに視線を合わせたまちづくり～』

木藤 亮太(株式会社ホーホウ 代表取締役・株式会社油津応援団 専務取締役)

15:15～15:45

『高速道路を活用した地域創生プロジェクト』

濱野 昌志(西日本高速道路株式会社 九州支社 地域連携担当部長)

15:45～16:00 休憩

16:00～17:00

パネルディスカッション

『地域の発展と高速道路への期待』

コーディネーター 坂口 光一

パネリスト 村岡 浩司・木藤 亮太・濱野 昌志

17:00～17:10 閉会挨拶

開催方法

会場での開催に加え、動画配信も実施いたします。

会場開催

事前申し込みが必要です(先着順)。

HPの「シンポジウム参加申し込み」からお申し込みください。

【締切: 10月30日(金)】

※席数の上限に達した場合、先着順といたします。

※CPD 認定はご来場の方のみ対象とします。

土木学会認定 CPD プログラム

(認定番号 JSCE20-0646・単位数 3.5 単位)

※新型コロナウイルスの感染防止対策を実施します。

- ・入場時の検温と手指消毒の実施
- ・ご来場時のマスク着用
- ・ソーシャルディスタンス確保のため、座席の間隔を確保

動画配信

申し込みは不要です。

Live 配信とオンデマンド配信の URL を HP に記載します。

下記 URL または QR コードよりご確認ください。

※CPD 認定はご来場の方のみ対象としますので、CPD 発行は致しかねます。

HP はこちらからご覧ください。

※その他注意事項等詳細も合わせてご確認ください。

<https://www.kyushu-u-nexco.jp/index.html>



以下の場合には、シンポジウムの開催を中止いたします。

- ・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が発令された場合
- ・講師や実施関係者に感染が判明した場合
- ・主催者が内容を変更あるいは中止すべきと判断した場合



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY



主催: 九州大学 共催: 西日本高速道路(株)

後援: 国土交通省九州地方整備局、(公社)土木学会西部支部、(公社)地盤工学会九州支部、
(一社)九州橋梁・構造工学研究会、(一社)建設コンサルタンツ協会九州支部、
(一社)日本建設業連合会九州支部、(一社)九州地域づくり協会

お問合せ先: 西日本高速道路エンジニアリング九州株式会社 h.sengoku.a@w-e-kyushu.co.jp (仙石) r.matsumoto.a@w-e-kyushu.co.jp (松本)

人口減少、少子高齢化といった課題に直面している中で、わが国が持続可能な社会を実現するためには、各地域がそれぞれの特徴を活かしながらか成長していく必要があります。また、最近では、新型コロナウイルス等の影響により、新しい価値観やライフスタイルを創出していくことが求められています。このような中で、都市と地域とのつながりを築き、人・モノの交流を支える交通インフラが望まれています。

本シンポジウムでは、九州各地の地域創生の事例について紹介します。地域に根ざした活動だけではなく、九州全体、さらには国内外への発信・展開を目指す取り組みについても紹介します。本シンポジウムを通して、地域創生に求められる交通インフラの役割や、次世代の新しい交通インフラの可能性について考えます。

講演者 略歴



坂口 光一 一般社団法人 イドビラキ 代表理事・九州大学 名誉教授

1953年 福岡県大牟田市出身 1980年 東京大学大学院工学系研究科 都市工学修士課程修了
 1980年～1996年 公益財団法人九州経済調査会に奉職
 ・産業・経済・地域の調査・研究、行政の計画策定支援に従事
 1996年9月～2019年3月 九州大学に奉職(工学部、工学研究院)
 ・ベンチャービジネスラボラトリーにおいて起業家教育プログラムの開発、産学連携システムの構築に従事
 ・ビジネススクール教員兼務(2002年度～2004年度)
 ・「技術と感性の融合」をめざす戦略的研究拠点育成プログラム「ユーザーサイエンス機構」の研究プロジェクトに従事
 ・文理横断型の大学院統合新領域学府ユーザー感性学専攻の起ち上げと教育に従事(2009年4月～2019年3月)
 2019年5月 一般社団法人イドビラキ設立
 ・「ひと・もの・まち玄気製作所」をコンセプトに、未来を創造していく協働クラフト型の社团として活動中、現在に至る。

村岡 浩司 株式会社一平ホールディングス 代表取締役社長

“世界があこがれる九州をつくる”を経営理念として、九州産の農業素材だけを集めて作られた九州パンケーキミックスをはじめとする、「KYUSHU ISLAND®/九州アイランド」プロダクトシリーズを全国に展開。台北やシンガポールの「九州パンケーキカフェ」は食による日本の地方創生モデルとして話題を呼び、予約の取れないカフェとしてブームを巻き起こしている。現在では多数の飲食店を運営する一方、九州各地にて様々な地域貢献活動や食を通じたコミュニティ活動にも取り組んでいる。メディア出演：カンブリア宮殿、NHKワールド、日経プラス10、日経ビジネス、東洋経済 他多数。ローカルイノベーター55選、日本を元気にする88人(フォーブスJAPAN)に選出。「第1回九州未来アワード」大賞受賞。「ICCクラフトカタパルト2019」優勝。著書に「九州バカ 世界とつながる地元創生起業論(発行=文屋 発売=サンクチュアリ出版)」。



木藤 亮太 株式会社ホーホウ 代表取締役・株式会社油津応援団 専務取締役

1975年生まれ。宮崎県日南市が実施した全国公募で選ばれ、2013年7月よりテナントミックスサポートマネージャーに着任。“猫さえ歩かない”と言われた油津商店街の再生事業に取り組み、約4年で25を超える新規出店、企業誘致等を実現。商店街再生の好事例として国や各地から大きな評価を得ている。
 その後は自らのルーツがある福岡県那珂川市に拠点を移し株式会社ホーホウを設立(2018年1月より)しJR博多南駅前ビル「ナカイチ」を地域コミュニティを育む場として再生、2020年3月には全国誌「ソトコト」の表紙を飾った。2019年8月には株式会社バトンタッチ(2019年7月より)を設立。39年の幕を閉じた老舗喫茶店「キャプテン」を継承し、話題となっている。

濱野 昌志 西日本高速道路株式会社 九州支社 総務企画部 地域連携担当部長

1970年大分県出身
 1993年日本道路公団へ入社後、広島管理局に配属。2005年の民営化以降、本社経営企画課長代理、九州支社では事業開発課長、総務課長を歴任。九州支社佐賀高速道路事務所長を経て、2019年7月より現職。高速道路を活用した地方創生プロジェクトをはじめ、新たな地域連携に関するプロデュース兼ディレクターの役割を担っている。
 他に、自治体における地方創生総合戦略有識者会議委員や九州大学産学官民連携セミナー「地域政策デザインスクール」でフェローなども務める。

